

湯沢町報道資料

湯沢町子育て教育部子育て支援課
湯沢町企画産業観光部企画観光課

**「ゆざわマッチボックス」を活用し、
保育士確保に取り組みます。**

湯沢町は、株式会社 Matchbox Technologies（本社：新潟市中央区 代表取締役・佐藤洋彰（以下、「マッチボックス社」と表記。））に委託している「ゆざわマッチボックス」を活用し、湯沢町認定こども園（以下、「こども園」と表記。）の保育士確保に取り組みます。

記

概要	「ゆざわマッチボックス」を活用し、保育士を募集します。
取組	「ゆざわマッチボックス」の「体験就業」（長期雇用・正規雇用を前提とした求人を掲出する機能）を使い、保育士とこども園とのマッチングを図ります。 子どもを相手とする職種であることから、単発業務（数時間単位で働くこと）はなじまず、体験就業を通じた長期雇用を目指します。そのための接点としてゆざわマッチボックスを活用するものです。 具体的には、応募があったら3日間の体験就業で適正を判断し、その後、会計年度任用職員として採用します。 3月22日（金）から5人分の体験就業の掲載を予定しています。
特徴	湯沢町が会計年度任用職員の採用に「ゆざわマッチボックス」を活用するのは初めてです。 圏域内では充足しないことから、県外に向けても発信を行います（各種 SNS 広告を実施）。
背景	こども園の園児数 180 人、保育士数 22 人、法律で定められた基準を満たすには5人不足（令和6年4月1日見込み）。
目標	5人分のマッチング、5人の会計年度任用職員の採用を目指します。
今後	不足している他職場や他職種に横展開できないか検討していきます。

ゆざわマッチボックスとは

湯沢町が令和4年度から始めた「デジタル技術を活用した労働環境提供・効率化事業」のことです。令和4年7月に開設したゆざわマッチボックスは、1日単位で就業可能な求人を掲載し、閲覧、応募から勤務までアプリで完結することにより、多様な働き方ができる地域づくりを目指しています。

令和6年2月末現在、14,345件掲出、5,622件応募、3,145件採用の実績（いずれも累計）があります。

湯沢認定こども園とは

平成28年4月に開園した保育所型認定こども園のことです。保小中一貫教育を行う「湯沢学園」のスタートに位置する、湯沢町唯一の就学前の子どもをお預かりする児童福祉施設です。施設が一体型であることをいかして、小学校との接続に配慮したカリキュラムに力を入れ、就学をスムーズにすること、充実した施設と自然環境で園児の運動遊びに重点を置いた保育・教育活動を行っています。

本件についてのお問い合わせ先

湯沢町子育て教育部子育て支援課 田村・原沢

電話：025-788-0292

湯沢町企画産業観光部企画観光課 笛田

電話：025-784-4850